

0328

二三

保存期限		決裁指定		決行指定		大臣	
受領	番	件名	事務局長	次官	政務次官	高級副官	主務課長
第	九三式側車附自動二輪車準制式制定件	第一〇四三號	主務局長	高級副官	參與官	高級副官	主務課長
參事							
起元應(課)名							
陸軍技術本部							
審案							
筆記者							
主務副官							
官房御用掛							
主務課員							
決行後	決行(決裁)後	連帶	局長	局長			
昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日					
昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日					
昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日	昭和三十九年一月二十九日					

永入甲三平

政務次官回付 決裁前後課名

決行(決裁)後 回覽課名

陸普 副官ヨリ陸軍技術本部長へ通牒  
 客年十一月二十八日附陸技本甲第六五九號上申ニ  
 係ル首題兵器ヲ準制式トシテ上申ノ通定メラル  
 ヘキニ付該圖面構造要領及概説各八十七部  
 送付セラレ度

右圖書送付アリタル後左案決行相成度

副官ヨリ別紙配賦表、箇所へ通牒

首題兵器別紙圖面並構造要領ノ通定メラレシ  
 ニ付該圖書 部送付ス

陸普第三九一號 昭和十年一月卅日

陸普第一一〇三號 昭和十年三月六日

昭和十年五月八日 奉送

九三式側車附自動三輪車 配賦表

配賦箇所	部数	配賦箇所	部数
兵器局	一	臺灣軍	一
教育總監部	五	關東軍	一
兵器本廠	一	支那駐屯軍	一
造兵廠	四〇		
技術本部	五		
航空本部	三		
築城部本部			
師團(除第三師團)	(二三)各一		
第二師團	二		
第三師團	二		
計			八七

陸軍省

陸軍省  
陸軍省  
陸軍省

陸技本甲第六五九號

九三式側車附自動二輪車假制式制定相成度件上申

昭和九年十一月二十八日

陸軍技術本部長 岸 本

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

首題兵器別紙圖面並構造要領ノ連假制式制定相成度

追而審査經過ノ概要並概説各二部添付ス



0332

九三式側車附自動二輪車審査經過ノ概要

昭和九年三月廿七日  
陸軍技術本部第一部

陸軍

九三式側車附自動二輪車審査經過ノ概要

一、審査起源ノ大要

國産側車附自動二輪車ノ産出ニ伴ヒ之カ制式ヲ決定スルノ必要ヲ認メ昭和八年一月部案トシテ審査研究ニ著手ス

二、審査經過ノ概要

1、昭和八年一月日本内燃機株式会社及シンドオートバイ製作所製品各四輛ヲ兵器本廠ノ委託ニ依リ購買シ五日間ニ亘リ主トシテ關東地方ニ於テ運行試験ヲ實施セシニ兩社製品共成績良好ニシテ軍用ニ供シ得ル見込アリシモ細部ニ至リテハ幾多ノ修正ヲ要スル點アリシヲ以テ爾後兩社ヲ督勵シ修正ヲ實施セシメタリ

2、昭和八年十一月各部ノ修正ヲ實施シタル第二回試製品竣工シタルニ就キ再ヒ本廠委託注文ニ依リ兩社製品各二輛ヲ購買シ第二次試験ヲ關東地方ニ於テ實施セリ  
本試験ノ結果ハ第一次試製品ニ比シ性能耐久性共ニ著シク良

好トナリタルモ尙材料熱處理法、工作法等ニ關シ注意ヲ要ス  
ル點アリシヲ以テ更ニ之カ研究ヲ命シタリ  
3、其ノ後兩社共銳意研究ニ精進シ其ノ製品概ネ軍用ニ適スルニ  
至リタルヲ以テ之カ審査ヲ完了セリ然レ共シンドオートバイ  
製作所ハ解散シタル爲取敢ス日本内燃機株式會社製品ノミヲ  
制式トシテ採用スルニ決シタリ

0335

九三式側車附自動二輪車概説

昭和九年十二月廿七日  
陸軍技術本部第一部

陸軍

## 九三式側車附自動二輪車概説

## 第一 總説

本車ハ發動機、傳動機構ノ一部ニ獨特ノ構造ヲ採用セル點アルモ大體既ニ國軍ニ於テ多數購入セル「ハーレー」ダビットソン「側車附自動二輪車」ト略同一ニシテ操縱裝置モ亦類似セリ然レ共「ハーレー」車ニ比シ地上高著シク大ナル爲不齊地ニ於ケル運動性大ニシテ且燃料槽大ナルタメ運動時間大ナルヲ特徴トス

外觀附圖第一第二ノ如シ

## 第二 構造機能ノ概要

## 一 發動機

空氣冷却式四衝程V型二氣筒發動機ニシテ氣筒内徑九〇經衝程九四經壓縮比四七ニシテ活塞總排容量一立一九六ヲ有シ最大約二十ニ馬力ヲ發生ス

## 二 聯動機

乾多板式ニシテ國軍多數購入セル「ハーレー」車ト同一寸法ノモ

ノヲ採用シアリテ比彼交換自由ナリ

三、變速機

前進三段後退一段ノ摺動漸進式ニシテ變速安全裝置ヲ有ス

四、傳動方法

鏈式トス

五、油槽

燃料二〇立、滑油五立ノ容量ヲ有シ約八時間ノ連續運行ニ耐フ

六、側車

構造形狀概ネ「ハーレー」車ニ準シアルモ車室内ニハ機關銃取付具補強材ヲ鑲著シ後部外側ニハ豫備車輪一ヲ裝著ス

附表第一

主要諸元表

區	分	諸	元
自重	四四〇	斤	
全長	二米六三〇		
全副	一米七六〇		
全高	一米二〇〇		
發電機	空冷式V型二氣筒		
今最大出力	二二馬力 (三五〇〇回轉/分)		
揮發器	セブラー型		
點火裝置	磁鐵發電機		
變速機	前進三段後退一段		
輪帶寸法	二七吋×四吋		
最低部地上高	一五〇	斤	
最少回轉半徑	約一米九三〇		
最大速度	約八〇	斤/時	

陸軍

滑油消費量	燃料消費量	鑿登刀
每時立 七四斤	每時立 一四六斤	三分ノ一
〇五立	三五七立	

0340



陸軍省  
陸軍省副官 牛島 満 殿

陸技本甲第八九號

九三式側車附自動二輪車構造要領送付ノ件通牒

昭和十年三月四日

陸軍技術本部副官 岡田

陸軍省副官 牛島

満 殿

本年一月三十日附陸普第三九一號通牒ニ係ル首題ノ構造要領(六枚)八拾七通  
送付ス

追テ現品ハ陸普番號押捺ノ上銃砲課へ直送可致ニ付承知セラレ度

